

放射線科

プログラム名： 3つのプログラムより選べます。

- ①川崎医科大学放射線科専門研修プログラム
- ②岡山大学病院放射線科専門研修プログラム
- ③倉敷放射線科専門研修プログラム

定員： 2名

プログラム年数： 3年間以上

総医Cプログラム担当者： 放射線科(総合放射線医学) 加藤 勝也

総医C問合せ先： Tel:086-225-2111(代表) 内線 82530(加藤)

Email: kato-rad@med.kawasaki-m.ac.jp(加藤)

研修スケジュール：

研修には以下の3コースが設定されており、どのコースを選ぶかは本人の希望と基幹施設(川崎医科大学附属病院、岡山大学、倉敷中央病院)との相談で決定します。

	1年目	2年目	3年目
A	専門研修基幹施設	専門研修基幹施設	専門研修連携施設
B	専門研修基幹施設	専門研修連携施設	専門研修連携施設
C	専門研修基幹施設 (大学院・臨床)	専門研修連携施設 (大学院)	専門研修基幹施設 (大学院・臨床)

- コースA：専門研修基幹施設を中心に研修する基本的なコースです。基礎・臨床研究を体験できる体制が整っている基幹施設ではリサーチマインドも滋養します。
- コースB：専門研修連携施設を中心に研修するコースです。専門研修基幹施設での1年間の基本研修修了後、専門研修連携施設で臨床医としての実地研修に重点をおきます。専門研修連携施設は原則として1年ごと異動しますが、諸事情により2年間同一施設で研修することもあります。
- コースC：専門医取得と博士号取得を同時に目指すコースです。大学院に進学し、専門研修基幹施設のK大学医学部附属病院ならびに専門研修連携施設で、臨床現場での研修と臨床系研究および講義を両立しながら博士号取得をめざします。サブスペシャリティ領域の研修も、学位が取得できるまで同様の状況が持続します。

基幹施設と連携施設：

①

基幹施設	川崎医科大学附属病院
連携施設	川崎医科大学総合医療センター 岡山中央病院放射線科、兵庫県立粒子線医療センター

②

基幹施設	岡山大学病院
連携施設	川崎医科大学総合医療センター 岡山医療センター、岡山画像診断センター、岡山旭東病院、岡山済生会総合病院、岡山市立市民病院、岡山赤十字病院、岡山労災病院、倉敷成人病センター、津山中央病院、福山医療センター、福山市民病院、中国中央病院 脳神経センター大田記念病院、尾道市立市民病院、呉共済病院 岩国医療センター、姫路赤十字病院、姫路聖マリア病院 香川県立中央病院、三豊総合病院、放射線第一病院 住友別子病院、高知医療センター

③

基幹施設	倉敷放射線科専門研修プログラム
連携施設	川崎医科大学総合医療センター 放射線科 倉敷成人病センター 放射線科、聖路加国際病院 放射線科

プログラム統括責任者：加藤 勝也

プログラム基本情報：川崎医科大学附属病院又は岡山大学病院又は倉敷中央病院を基幹施設として、3年以上の研修期間のうち、1～2年を川崎医科大学総合医療センターでの研修に充てる。

研修目標・到達目標：3年間の研修で、放射線科専門医取得に必要な症例数と知識を得る。

取得可能な専門医：放射線科専門医

放射線科専門医コースの基幹・連携施設

